

# 受動部品事業について

常務執行役員  
植村 博之

# 受動部品・主要製品の四半期比較（当期1Q vs 当期2Q）



| <p>製品区分</p> <p>当第1四半期売上金額</p> <p>当第2四半期売上金額</p> <p>増減 %</p> | <p>増減要因</p>   |
|---|---|
| <p>コンデンサ</p> <p>361億円</p> <p>342億円</p> <p>5.3%減少</p>        | <p>●セラミックコンデンサ</p> <p>自動車分野向け販売が増加</p> <p>薄型TVを中心とした情報家電市場及び代理店向け販売が減少</p> <p>●アルミ電解コンデンサ/フィルムコンデンサ</p> <p>主に為替影響により販売が減少</p> |
| <p>インダクティブデバイス</p> <p>329億円</p> <p>314億円</p> <p>4.6%減少</p>  | <p>自動車市場向けに販売が増加</p> <p>スマートフォン・携帯電話などの通信市場向けは安定的に推移</p> <p>トランス、フェライトコアなどの電源回路向け部品の販売が減少</p>                                 |
| <p>その他受動部品</p> <p>328億円</p> <p>344億円</p> <p>4.9%増加</p>      | <p>●高周波部品</p> <p>スマートフォンを中心とした携帯電話向けの販売が増加</p> <p>●圧電材料部品及び回路保護部品</p> <p>自動車市場を中心に安定的に推移</p>                                  |

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

